



## 「日常生活」が教える 自然エネルギーのこと

身に付いたことは忘れない。

「三つ子の魂百まで」は、あなたがちうそじやない。習慣化した行動は、無意識にやっている。

蛇口を締める、電気を消す、ごみは分けて捨てる。

朝、起きて顔を洗う。歯を磨く、着替える。

日常の動作と同じにしてしまえば、できる。

そう考えて、自然エネルギーを広げようとしている。

朝起きたら歯を磨く、食事の後、磨く。

そのとき、蛇口の水は流しっぱなし。見えないときでもテレビの待機電力はオンのまま。食べたあと食器はすぐ洗う。

部屋を出るとき電気をつけたまま。ハンカチを持って出ないと落ち着かない。

無くて七癖。自分で気づかない癖だったり、無意識にやっていることは習慣化した行動だったりする。しかもそういう癖や習慣は、大人にならにつれ、かなり強く意識しないとなかなか抜けないものになってしまふ。

そういうことは逆に言えば、環境問題に気を遣ってごみを分別したり、電気をこまめに切ったり、無駄なものは買わないというような行為も、そうやって習慣化してしまえばたやすうということだ。つまり、私たちの生活は、習慣で成り立っている。モノゴトを習慣にしてしまえば、

省エネだろうが、節電節水だろうが、ごみの分別だろうが、当たり前朝、顔を洗うように出来てしまふはずなのだ。

自然エネルギーを広げようとしている

きようとグリーンファンランドは、この習慣化する行為に注目した。京都市内の幼稚園や保育園に、太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを広めている。事務局長の大西啓子さんはこう話す。

「やはり小さいときの方が、お勉強ではなくて生活習慣として自然に身につけて残っていくだろうと思うんですね。明るかったら自然に電気を消す、見ていないテレビはスイッチを切るという、そういう生活習慣が、省エネや水を大事にすることにつながると思うのです。

だから小学校へ上がってからの勉強で、エネルギーのことや地球環境のことを学ぶのももちろん大事ですけど、私

自然エネルギー  
あれこれ

太陽光

太陽光のエネルギーを吸収して電気に変えるエネルギー変換装置を、太陽電池という。



風力

風の力で羽根を回し、その回転運動を発電機に伝える構造を組む。



バイオマス

草木などの植物を使つた燃料をいう。生物体をエネルギー源にしているので、バイオエネ念「マス」という。



地熱

地下から取り出した蒸気やタービンを回転させて発電する方法。地球内部や地層などに利用しているところも。



海洋エネルギー

波力発電や海洋温度差による発電。海洋の特性を活かして発電する方法を現在開発中。

